

光の中に 生きる子われら

87人の四小っ子 卒業と進級 おめでとうございます！

本日3月21日(木)、令和5年度の修了式を迎えました。残すは明日の卒業式のみです。この1年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、少しずつ学校教育活動が開かれたものになってきました。

運動会では参観者の制限をなくし、同居ではないご親戚や地域の方にも楽しんでいただきました。最後の全校での踊りの輪には、たくさんの方が参加してくださり、いろいろなヒーローたちも踊ってくれました。



夏休みには2日でしたがPTAによるプール開放ができました。かき氷も楽しそうでした。集団宿泊と修学旅行も、感染症の発生に用心しながらも予定した学習ができ、それぞれに、一生に一度の大切な思い出を作ることができました。送迎等お世話になりました。



どんどやでは天候に悩まされながらも櫓を組み立て、もぐらうち、バザーや射的など、子どもたちにも活躍と楽しみの場を作っていただき、地域や保護者の皆さんに感謝、感謝です。

学習発表会も参集してのステージ発表を、保護者と地域の方に公開できました。PTAの歌と踊りでも盛り上げていただきました。

そして、明日はいよいよ卒業式。卒業生も在校生もたくさんの時間をかけて練習し、卒業生の最後の晴れ舞台を作り上げます。4年ぶりの全校児童参加の卒業式を、主役である卒業生はもちろん、全校児童ですばらしいものにしてけると確信しています。

四小っ子全員の進級と6年生の卒業、おめでとうございます。

令和5年度修了式 「ひとが輝くとき」ってどんなとき？

今日の修了式では、まず、各学年代表が1年間を振り返る発表をしました。学年に応じた内容で、6歳で入学し、12歳で卒業する小学生の成長を感じました。続けて、別の各学年代表に修了証を手渡し、校長からの話をしました。

修了証は、1年間の学習や生活で力をつけた証明書だということ。ひとは、生きているだけでその命が輝いているけれども、一番輝くのは、何かを一生懸命しているとき。特に、きついけれども頑張っているとき、勇気を出して頑張っているときには、光り輝くこと。毎日の生活の中で、たくさんの一生懸命を経験した皆さんは、胸を張って進級、卒業してほしい、などと話しました。

学校の先生という仕事は、そんな子どもたちのすばらしい成長の姿を一番間近で見ることのできるすばらしい幸せな仕事です。子どもたちに感謝して、この1年間を閉じていきます。春休みは事故や病気に気をつけて、元気に新学年を迎えてほしいと思います。

今年1年間 本当にありがとうございました

この1年間、子どもたちはたくさんの学びや経験を重ねてきました。これも、保護者の皆様、地域の皆様が学校教育活動にご協力、ご支援をいただいたおかげです。心より御礼申し上げます。

令和6年度も四小の子どもたちがさらに輝くように努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。